

岩屋だよりー1号

2011年(平成23年)4月22日

この前まで、桜花の競演だったかと思いきや、もう足もとのここかしこではツツジの花が咲き出し、樹上に目をやれば木々の新緑が一段と鮮やかな今日この頃です。

長崎北道場も発足以来、早いもので今年の夏で丸9年を迎えます。その間多くの会員の出入り等もありましたが、こうして仲間で合気道をできることは、たいへんありがたいことです。

去る3月11日夕方に発生した東日本大震災は、まだ終わりなき苦闘の日々が続いており、被災した皆様には慰めの言葉もみつきりませんが、これからの復興への道を進めるためには、被災地以外でも各人が今一度日常生活や仕事のまわりの生活から見つめ直すことも重要でしょう。

報道などによれば、平安時代の西暦869年に発生した貞観(じょうかん)地震以来の規模とかよくいわれ、これは今をさか上ること1142年、随分昔のこのようですが、地球の誕生からの歴史約46億年、これを人の一生に例えれば、この1142年はほんのまばたきくらいの時間差といわれます。

いつどこでもこのような大災害は起こる可能性があるかも知れず、このことをもう一度お互いに認識したいものです。

筆者は、昨年3月に長年勤めた職場を辞し、その記念も兼ねて妻を同伴して、まさに今回の大災害にみまわれた東北地方の太平洋側を4月中旬に、福島県郡山市を拠点にしてレンタカーで松島～気仙沼～平泉(中尊寺)～相馬と回る旅をしました。

港町の気仙沼では、旧知の間柄の居酒屋「ぴんぼん」のオーナー白幡ご兄弟と久しぶりに再会したのがちょうど1年前。

今回の大震災後、なかなか連絡がつかず心配していたのですが、1週間目くらいに地元の災害対策本部関係機関に電話が通じたのでお尋ねしたところ、無事だとか、しかしまだ確かな情報が取れていないため心配しているところです。

いずれにしましても、今回の大震災で被災された方々には慎んでお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念申し上げます。

4月は年度はじめで、一年の稽古のスタートの節目の月です。

この機関誌も、以前は「岩屋通信」とっていましたが、これからの未来を担う子どもの会員の方に特に読んでもらえればと思い、名称も表題のように、ひらがなで「岩屋だより」と変更しました。

これを期に気持ちも新たに筆者自身もがんばりますので、引き続きご愛読願います。一応、偶数月、都合2ヶ月に一回当道場のホームページ上に掲載予定。

年度はじめですので、これからのおおまかな行事等をお知らせ！

4月30日～5月4日の間の土・日曜日と水曜日は連休中ですので、稽古はお休みです。次は8月中旬のお盆と、年末年始に少し長い休みを予定

5月上旬は、「母の日」。詳細の日時はおって幼年部の指導の先生から連絡あると思いますが、稽古終了後に子どもの会員には道場からささやかなカーネーションの花のプレゼントを予定しています。

その後、8月頃には「すいか割り大会」、冬には「クリスマスプレゼント」も予定していますのでお楽しみに。

しかし、本来の稽古の方も、今秋には少し大規模な道場内での演武大会も計画していますので、一層稽古も頑張ってください(もちろん子どもにとっては、学業も大事ですので、無理のない範囲で道場に来て下さい)。



佐賀県嬉野市の百年桜(納戸料のサクラ)4月9日撮影：今年是一段ときれいでした・・・
「さまざまな こと思い出す 桜かな」 松尾 芭蕉